



PCO・フリーマインド通心

ペストコントロール事業を通じて
あなた様との良縁を育み、御商売繁盛のお手伝い 平成24年・11月発行

vol.18



“旧暦”で生活する駆除屋

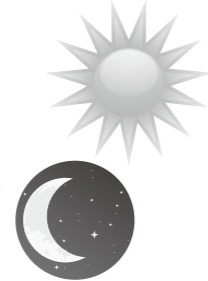
こんにちは！ 害虫駆除研究家のフリーマインドこと白神です。11月、朝晩が寒くなりましたが、あなた様お変わりございませんか。今年も残すところ2ヶ月となりました。元気出して進みましょう！

毎年この時期、私は翌年の手帳を購入し、来年の準備に取り掛かります。そして真新しい暦を開いて、一年、ひと月、一日と、季節と時間の流れに思いを寄せます。

私たちの地球は、1億4700万キロ離れた太陽の周囲を、ほぼ365日掛けて一周しています。そして38万キロ離れた軌道を回る月を、伴侶に連れています。地球は公転速度、時速10万5千キロと言うとてつもないスピードで太陽の周りを進みながら、尚且つ、地球そのものが時速1666キロで自転し、更に地軸(赤道のライン)を23.4度南北(北回帰線と南回帰線)にローリングしながら、都合、一年かけて約47度ローリングしながら、宇宙において周回軌道を飛んで航行している訳です。

余談ですがこの赤道・南回帰線、北回帰線を基準に、春分の日・秋分の日・夏至・冬至が存在し、北半球の温帯に位置する日本には四季が存在するわけです。秋の夜長、この地球のことについて、少し勉強してみたいかがでしょうか。

ちなみに自然相手の私の仕事では、太陽暦(現在の暦)より太陽と月の一年から算出された太陰太陽暦の方が当てになる暦として活用しています。



ケーコ先生とワンコのほのぼの日記

‘今、あらためて家族紹介’の巻

scene 17

毎月、私どもの仕事を通じて、新しくご縁をいただくお客様に、感謝の気持ちを込めてフリーマインド通心を発送致しております。始めて2年近くになるのですが、当時の2倍のお客様にお送りするようになり、ちょっと復習をしたいと考えて、今月は、登場人物である私の家族紹介を再披露することに致しました。



★ 配役1: ケーコ先生(ほほ主役) ★

ケーコ先生は私の妻です。私は、「ケーコ先生!!」と呼んでいて、この通心でもそう表記しています。ケーコ先生は、昭和55年に岡大附中卒、その後、一宮高校(第一期生)を昭和58年卒、そして川大短大の秘書科を卒業後、運動指導を延々と仕事にし、先日、その協会から25年会員の表彰を受けた強者です。現在は、フリーマインド&ポティ(株)という会社を設立され(社長様!),メタボの私には到底理解できない、そして判り難い「ポティーワーク」と言う仕事を、市内2箇所のスタジオで精力的に行っています。

★ 配役2: 愛犬のクレアとブッチ ★

ワイフとは、犬の縁で結婚しました。(言わば犬縁の仲)。私が庭で飼っていたビーグルのクレアが、ある雨の日、突然出産。(おデブな犬だったので気がつかない!)仕事に忙殺されていた私は、スポーツクラブの先生だったケーコ先生に即相談。「すぐ連れてこられ〜」の一言で、快く6匹の子犬とクレアを預かってくれ、その後、里親も次々に見つかり、ブッチが残りました。

しばらく後に、クレア、ブッチに続いて、なんと私もケーコ先生にお世話になることになりました。

…と、言う訳で、犬が取り持つ縁で結婚して今に至っていますが、今でも私が、家の中では優先順位の最終にいるような、肩身が狭い毎日です。



白神環境衛生消毒

有限会社 白神文化財虫菌害研究所・白神シロアリ技術研究所

〒700-0845 岡山市南区浜野2丁目1-35 オフィスZ内

TEL 086-264-1271 / FAX 086-264-1263

http://www.shiraga.co.jp

白神環境衛生消毒 検索 ログ随時更新中!

※バックナンバーが必要な方はお申し出下さい!

フリーマインド通心をご愛読いただき誠にありがとうございます。このニュースレターは、弊社で防除施工・管理施工させていただいているあなた様、また私共とご縁をいただいているあなた様にお届けしています。



?	害	虫	管	理	?
!	な	る	ほ	ど	!
!	が	っ	て	ん	!

～番外編～
昆虫に由来することわざを、自分の生活に照らし合わせてみると…、正にピッタリ!

蛍雪 (けいせつ)

苦勞して学問に励むことを指すことわざで、「蛍雪の功を積む」と使われます。夜、勉強しようにも、貧しくて灯火の燃料が買えず、蛍を集めてその明かりで勉強したことから、逆境に負けず弛まぬ努力をすることを表します。



私が受験生であった頃は、蛍雪時代という受験雑誌がございました。

会社経営者になって判るのは、経営者というもの、すべからず「蛍雪」の精神なくして、組織は前進も、発展もしないし、結果、社会にも貢献できないということです。



(有)白神環境衛生消毒は、特定非営利活動法人 介護高齢者ドッグセラピー普及協会の活動を支援いたしております。

蟻螂の斧 (とうろうのおの)

(とうろうのおの)



蟻螂は、カマキリのことです。どんな相手にでもカマを振り上げて立ち向かうことから、自分の力の弱さを顧みないで、強敵に向かうなど、無謀ではかない抵抗のことを示すとえです。

現代の「女性上位社会日本」を認知しないまま社会に出てしまう気の毒な男性が、OL 対応を誤り、ハラハラ・セクハラに陥る失敗もこれが原因です。私のように、春の前ではいつでも「虫の息」の死んだぶりを装うのが誠に幸せな人生のコツです。



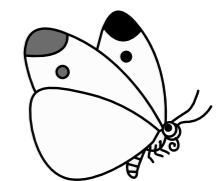
虻蜂取らず (あぶはちとらず)

ご存知、同時に二つ手中に収めようとして、結局失敗し、元来のその目的を果たすことができなかったことのたとえですね。

有名な同意義のことわざに、「二兎を追うものは一兎をも得ず。」がござ

います。用意周到に準備したことで、一度に二つを手に入れようなどと、「虫がいい」ことを考えたら、結局失敗して、「泣きつ面に蜂」などということになりかねません。

弊社でも、色々と多方面から別事業の持ちかけがありますが、只々愚直に本業を進めるのみでございます。



虫が知らせる (むしがしらせる)

本来は、確証もなく、何とは無しに、いつもと違った行動をした結果、偶然にも難を逃れた様子を指して使われることわざです。

我が家では、「虫も殺さない」ようなケーコ先生から、私にとって「虫が好かない」ような依頼があったとしても、決して、春の「虫の居所が悪く」ならないように、日頃「虫が知らせる」前に、いつも半歩先にケーコ先生のご機嫌をお伺いして、ご奉仕する毎日です。でも実は、ケーコ先生主催の女子会では「飛んで火に入る夏の虫」と、私のことが話題にされているかも知れません。

